

中国四国植物防疫研究「投稿規定」

1. 投稿者は、原則として通常会員にかぎる。ただし、共同執筆者には、非会員を含むことができる。
なお、編集委員会が認めたときは、非会員の特別原稿をうけることがある。
2. 原稿は、未発表のもので、内容は、病害虫、農薬および防除器具などに関する原著論文(短報, 速報を含む)、講演要旨、総合抄録、論説、普及技術、雑録、会報および時報などとする。
3. 投稿の取捨、掲載順序、体裁、校正などは、編集委員会で行う。
ただし、原稿の本質的な部分で不十分なところや訂正すべきところなどがある場合は、投稿者に連絡の上で訂正する。原稿は、「原稿執筆要領」に従ってMS-Wordで作成する。なお、必要な場合は外部に論文の審査を依頼することができる。
4. 原著論文は、刷り上がり8ページ以内、短報は同4ページ以内とする。一般講演の要旨は刷り上がり半ページ(約1,000字、本文は22字×32行以内)、特別講演は同2ページ以内とする。その他は編集委員会において、別途定める。
5. 既済原稿は、原則として返却しない。
6. 原稿の締め切り期日は、毎年1月末日とする。締め切り期日におくれた原稿は、次号廻しまたは返却する。但し大会で講演された「一般講演」と「特別講演」の要旨は、電子ファイルを定められた期日までに提出する。
7. 協議事項は機関誌に掲載する。原稿は編集委員会で定められた様式により作成し、電子ファイルを同委員会で定められた期日までに提出する。
8. 投稿は、下記あてにオンラインにより行う。
9. 投稿者は、査読済み原稿をオンライン掲載用に編集し下記あてに提出する。
10. 掲載された論文の著作権は、中国四国植物防疫研究協議会に帰属するものとする。

〒721-8514

広島県福山市西深津町 6-12-1

農研機構 西日本農業研究センター内

「中国四国植物防疫研究」編集事務局

電話 084-923-4100

E-mail : kitamura.toshio613@naro.go.jp

原稿執筆要領

1. 原稿は、原則として新かな遣いによる和文を用い、A4判横書き、1ページ20行程度、フォントMS明朝、12ポイント、用紙の上下左右は約3cmあけて作成する。電子ファイルは、拡張子が「.doc」または「.docx」の形式とする。句読点、カッコは和文には、全角の「,」, 「.」と「()」を、英文には半角の「,」, 「.」, 「()」を使用する。
2. 原著の記述順序は次による。
イ 標題, ロ 著者名, ハ 所属名, ニ 欧文標題, ホ 著者ローマ字名, ヘ Abstract (希望者のみ), ト キーワード 5個以内, チ 本文 (緒言, 材料および方法, 結果, 考察, 摘要), リ 引用文献
原稿の第1ページは、標題, 著者名, 所属名, 欧文標題, 著者ローマ字名だけとし、2ページ目より本文の記述に入る。
3. 講演要旨の記述順序は次による。
イ 標題, ロ 著者名, ハ 所属名, ニ キーワード 5個以内, ホ 本文
4. 図, 表および写真は1枚ずつA4判で作成することを原則とし、末尾に添付する。その挿入場所を本文の欄外余白に赤字で示す。
5. 生物名, 外来語, 外国の地名などは、カタカナとし、数字は、算用数字を用いる。文中の欧語は、活字体とし、学名はイタリックを用いる。
6. 単語と略号は、長さ: km, m, cm, mm, μm , 面積: ha, a, m^2 , cm^2 , 容積: L, mL, μL , 重量: kg, g, mg, μg , 温度: $^{\circ}\text{C}$, 時間: hr, min, sec, 時間, 分, 秒などを用いる。
7. 文献の引用は、本文中においては、“著者名 (年号)” あるいは (“著者名, 年号)” とする。
共著者が2人のときは、2人とも名前を書き、3人以上のときは、2人目以下を“ら”あるいは“et al.” で省略する。
例: ……のことは、すでに青木 (1961), 東ら (1968), 山田・佐藤 (1971) によって明らかにされた。 ……のことが知られている (Smith, 1958 ; Day and Mercer, 1968a ; Smith et al., 1970)。
8. 引用文献リストの記載は、アルファベット順とし、記載要領は次の例にならう。
青木三郎 (1970 a) : 殺虫剤と天敵. 養賢堂, 東京, 216pp.
青木三郎 (1970 b) : ウンカに寄生する *Anagrus* 属のホソバネヤドリバチの研究. 応動昆, 6 : 102-112.
Aoki, S. and K. Takeda (1968) : Parasitism of *Laodelphax striatellus* (Fallen) by *Anagrus* sp. Bull. Shikoku. Agric. Exp. Sta., 16 : 52-72.
Clausen, C. P., V. Load and C. I. Park (1958) : Problems on biological control. W. B. Saunders Co., Philadelphia and London, 360pp.
向 秀夫・草葉敏彦 (1962) : 培地と培養法. 植物病理実験法 (明日山秀文ら編), 日本植物防疫協会, 東京 : 59-83.
共著者が3人以上でも全部氏名を挙げる。同じ著者, 同じ雑誌でも・・・同上と省略せず, 全部記入する。著者名 (姓のみにしない), 発行年, 雑誌の巻, ページ数は, 正確に, 当然のことであるが, 本文に引用した文献のみを記載する。